

翼竜

それは地球史上初めて空に羽ばたいた脊椎動物であり、恐竜時代の空の支配者でした。1億5000年以上の長きに渡って空の生態系の頂点に君臨した彼らは、いったいどのような生物だったのでしょうか。本展では最新の研究によって明らかになりつつある翼竜たちのすがたに迫ります。

化石からよみがえる翼竜のすがた

飛行の方法や食性など、これまで謎に包まれていた翼竜たちの生態を最新の研究をもとに復元します。

プテラノドン

(所蔵：佐賀県立宇宙科学館)

魚を捕らえるのに適した鋭いクチバシをもつ



プテロダウストロ

(所蔵：群馬県立自然史博物館)

水中の小さなエサをこしとるブラシ状の歯をもつ

翼竜大進化

コウモリのように小さなものから小型飛行機のような巨大なものまで、多種多様な翼竜たちの進化の歴史をたどります。



アンハングエラ

(所蔵：佐賀県立宇宙科学館)

するどいキバで魚を襲う海のハンター



ズンガリプテルス

(所蔵：北九州市立自然史・歴史博物館)

細いクチバシで捕まえて強力な歯で噛み砕く



ランフォリンクス

(所蔵：佐賀県立宇宙科学館)

まっすぐ伸びた長い尾が特徴の小型翼竜



10mを超える
世界最大級の巨大翼竜

ケツァルコアトルスの原寸模型もやってくる!!

(所蔵：北九州市立自然史・歴史博物館)

翼竜vs羽毛恐竜

～空をめざした2つの“竜”～

現在の鳥類へと続く羽毛の翼をもった「恐竜」と中生代で絶滅した「翼竜」。それぞれの類似点や生存戦略の違いを探ります。

プテロダクティルス

(所蔵：北九州市立自然史・歴史博物館)

コナン・ドイルも小説で描いた元祖「翼竜」



羽毛恐竜アンキオルニス

(所蔵：佐賀県立宇宙科学館)

ほとんど鳥のすがただが長い脚にも羽毛の翼がある



©Atlantic Productions/200

プラネタリウム番組

別料金

フライングモンスター

翼竜はなぜ誕生し、どんな進化を遂げたのか。地球のさまざまな場所から発見された化石たちにその秘密が隠されている。古生物学者たちの謎解きへの挑戦が始まった!

料金 ● 一般：200円
● 高大学生：150円
● 中学生以下：100円

	9:40~	11:10~	12:40~	14:10~	15:40~
平日	—	●	●	●	—
土	●	■	●	●	●
日・祝	—	■	●	●	●

● フライングモンスター 放映

■ 幼児投映 (別番組)

[注] 放映途中の入場はできません。夏休み期間中は満席が予想されますのでお早めにお買い求めください (館内の券売機にて当日券のみ先着順にて販売)。

講演会

翼竜という生きもの

北九州市立自然史・歴史博物館 学芸員

大橋 智之氏



日時：7月31日(日) 15:30~16:30

会場：熊本博物館プラネタリウム

対象：小学生以上

定員：110名(要事前申込)

[注] 申込者多数の場合は抽選となります。

申込期間 / 7月1日(金)~7月15日(金)

講演会名・日時・住所・電話番号・参加者全員分の氏名・年齢を明記の上、往復はがき、または熊本博物館ホームページ申込専用フォームよりご応募ください。

感染症対策について

●新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、本展の会期や関連イベントを変更する場合があります。●体調に異常がある場合はご来場をお控えください。●館内では必ずマスクの着用をお願いします。●検温や消毒、その他感染防止対策にご協力ください。37.5度以上の発熱が確認された場合は、ご入場をお断りいたします。●混雑時は入館をお待ちいただく場合がございます。